
『恋』ツテ、ナニ？

白蘭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『恋』ツテ、ナニ？

【Nコード】

N7706P

【作者名】

白蘭

【あらすじ】

二人とも好きとか、そんな贅沢言えない。

一人は、ずっと好きで、うちにはもったいないくらいの人。

もう一人は、うちのコト、好きって言ってくれた人。

・・・複雑。

「おま、ちよ、いつてえな！！！ざけんなよ！！ｗｗｗ」
「ッハ！ざまあみろよｗｗｗ」

こんな他愛のない会話がいずれ、キミを求める

愛の言葉になるとは、思わなかった。

カタカタ・・・タタンツ・・・カタカタカタ・・・

『明日、一緒に帰ろう？うち、部活5時半くらいに終わるから。校門で待つてるよ。』

メールを打つ時も、少しドキドキする。

こんな関係になったのは、つい最近のコト。

『お前が好きだ』

及川 優登おいかわ ゆうとからの、手紙。

こんな無愛想な手紙でも、嬉しかった。
うちはアンタを想っていたから。

『ありがとう。でも、少し・・・時間を頂戴。』

想っていたけど、まだ、少し想い残したコトがあった。
もう一人、想う人がいてしまったから。

泉 海斗いずみ かいと。

小学生の頃から、ずっと好きだった。

やんちゃで、元気で、明るくて、強くて、面白くて、でも、いざという時、

同じ歳なのに、すっごく大人に見えて、格好良いヤツ。

悩んだ。

すっごい悩んだ。

優登も好き。

海斗も好き。

こんなコト、いけないんだって知ってる。
どうすればいいんだろ。

悩んでる時、友達から

海斗についての情報が聞こえた。

『知ってる？2組の及川海斗って、他の学校のヤツと付き合ってるらしいよ。』

しかも、結構カワイイ仔なんだってー！』

そ、つか。

彼女、できたんだね。

なんでだろう。

部活も一緒に、たまに笑いあって、仲間だと思っていたのに、素直に喜べない。

「おめでと」って笑いながら、茶化すコトもできない。

ああ、そっか。

『好き』っていう気持ちが邪魔してるんだ。

海斗に彼女ができた今、もう思い残すコトはない。

『優登、返事遅れてごめん。』

うちも優登のコト好き。
うちと、付き合おう？』

この手紙を渡したら、もう戻れないかも。
でも、気付いたら、渡してたんだ。

「あ、伊織。」

「ん、ああ。部活遅かったね。」

「めっちゃ疲れたw」

「お疲れ様。んじゃ、帰ろ？」

「おう。」

好きな人と帰れて胸が弾むはずなのに。
どうしてだろ。

なんか、ちっとも、嬉しくないの。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7706p/>

『恋』ッテ、ナニ？

2010年12月31日20時47分発行